

愛知縣八名郡山吉田村改良鋤炭製造法及附屬炭爐模型

造林用器具審査報告

主任審査官 東京帝國大學農科大學教授 林學博士 本 多 靜 六

造林用ノ器具ハ其總數僅ニ二十三點人員十三ニシテ概シテ注意ニ値スルモノ少ナシト雖モ只下刈用ノ鎌、鉋等ノ如キ特ニ林業上ニ適スルモノノ製出ヲ見ルニ至リシハ確ニ斯業ニ於ケル一段ノ進歩ヲ示スニ足ル何トナレハ從來是等ノ器具ハ多ク農業上ノモノヲ使用スルニ過キサリシモ下刈用トシテハ其乃ノ極メテ堅牢ナルコト柄ノ長キコトヲ有利トナス場合多ク而シテ今回ノ出品ニ多數此目的ニ適スルモノアルヲ見レハナリ就中福井縣加藤善次郎ノ出品ニ係ル長柄鎌ハ其形狀大サ共ニ適當ナルカ上ニ及ノ構造極メテ堅牢ニシテ柄モ亦々輕ク實用上最モ優良ナルモノト認ム其他短柄ナル鎌ノ適スル地方ニ於テモ下刈及地拵ニハ屢々矮木ヲ伐採スルノ必要アルモノナレハ施業ニ際シ從來鎌ト鉋トノ兩者ヲ實地ニ携帯スルヲ常トシ取扱上不便ヲ感スルコト尠カラサリシモ今回愛知縣東加茂郡ノ出品ニ係ル鉋鎌ト稱スル器具ハ此兩者ヲ兼タルモノニシテ一ノ器具ニテ兩種ノ代用ヲナスコトヲ得使用上甚々簡單ニシテ手數ヲ省略スルコト少シトセス但シ其構造ニ至リテハ未タ完全ト云フヲ得ス今後尙一段ノ改良ヲ要スルモノト認ム

又從來我國ニ於テハ造林上播種用ノ器具ナルモノ殆ンド存スルコトナカリシニ今回奈良縣杉本音吉ヨリ杉檜播種器ノ出品ヲ見タルハ斯業界ノ一進歩ナリト云ハサル可ラス該器具ハ其構造簡單ナルモ種子

ノ散布ヲシテ平等ナラシムルノ效アルモノニシテ播種ニ不熟練ナル者ト雖モ此器ノ使用ニヨリテ能ク均一ノ播種ヲ爲スコトヲ得ヘシ

尙植樹苗木貯藏用トシテ高知縣野村敬治ノ出品一點アリ是レ植樹ノ際苗木ヲ亞鉛製ノ箱内ニ入レテ脊負ヲモノニシテ箱ノ底ニ濡苔ヲ敷キテ根ノ乾燥ヲ防キ且ツ螺線ニヨリテ苗木ノ取出ヲ自由ナラシムルノ装置ヲ爲ス等其意匠ハ甚タ巧妙ナリト雖モ亞鉛箱ハ却ツテ太陽ノ熱ヲ導クノ虞アルノミナラス實際造林ニ用フル如キ大苗ヲ常ニ背ニスルハ其勞大ニシテ植付ノ工程ヲ減スルノ虞アルヘキニヨリ彼ノ獨逸國ニ於ケル植樹箱ノ如ク寧ロ之ヲ手提ノ木箱トナシ植付ノ際其箱ヲ傍ニ置キ夫レヨリ苗木ヲ取出シテ植栽スルノ方法ヲ以テ優レリトスヘキ乎但シ我國多クノ造林地ノ如ク嶮岨地ニ在リテハ箱ノ滑落スル恐レアルニヨリ箱底ニ釘ノ類ヲ立テテ之ヲ豫防スルノ装置ヲナスヲ必要トス要スルニ野村氏ノ器具ハ之ヲ實用ニ供スル爲メニハ尙一段ノ工夫改良ヲ要スルモノト認ム

本頃ノ出品ヲナセシハ僅ニ奈良、高知、福井及愛知ノ四縣ニシテ右ノ外尙移植鋤、根切鋤、鋤、熊手、鉋等ノ出品アレトモ何レモ平凡ニシテ見ルニ足ルヘキモノナキヲ以テ特ニ評說セス今該四縣ニ對スル出品點數並ニ擬賞數及種類別點數表ヲ表示スレバ次ノ如シ

造林用特種器具府縣別出品點數並ニ擬賞數一覽表

府縣名	一等		二等		三等		四等		合計
	苗圃用器具	造林用器具	苗圃用器具	造林用器具	苗圃用器具	造林用器具	苗圃用器具	造林用器具	
奈良縣	1	1							2
福井縣	6	1							7
高知縣	3	1							4
愛知縣	6	1							7
計	16	3							19

造林用特種器具種類別點數表

府縣別種類	奈良縣				福井縣				高知縣				愛知縣				計
	鎌	鉋	鋤	播種器	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	鋤	
奈良縣																	
福井縣																	
高知縣																	
愛知縣																	
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

明治四十四年三月二十二日印刷
明治四十四年三月二十五日發行

農商務大臣官房文書課

印刷人

東京市日本橋區兜町二番地

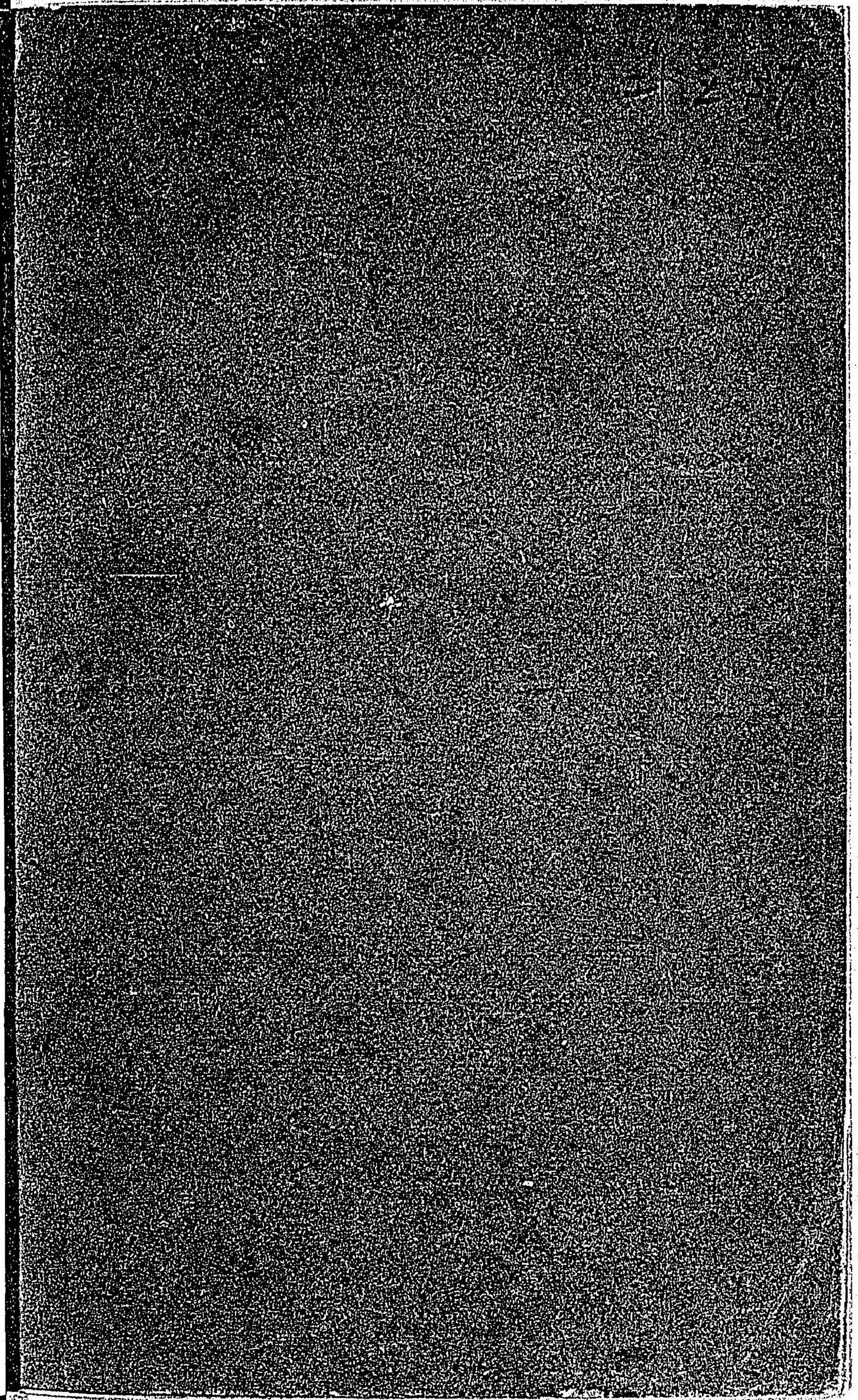
神谷岩次郎

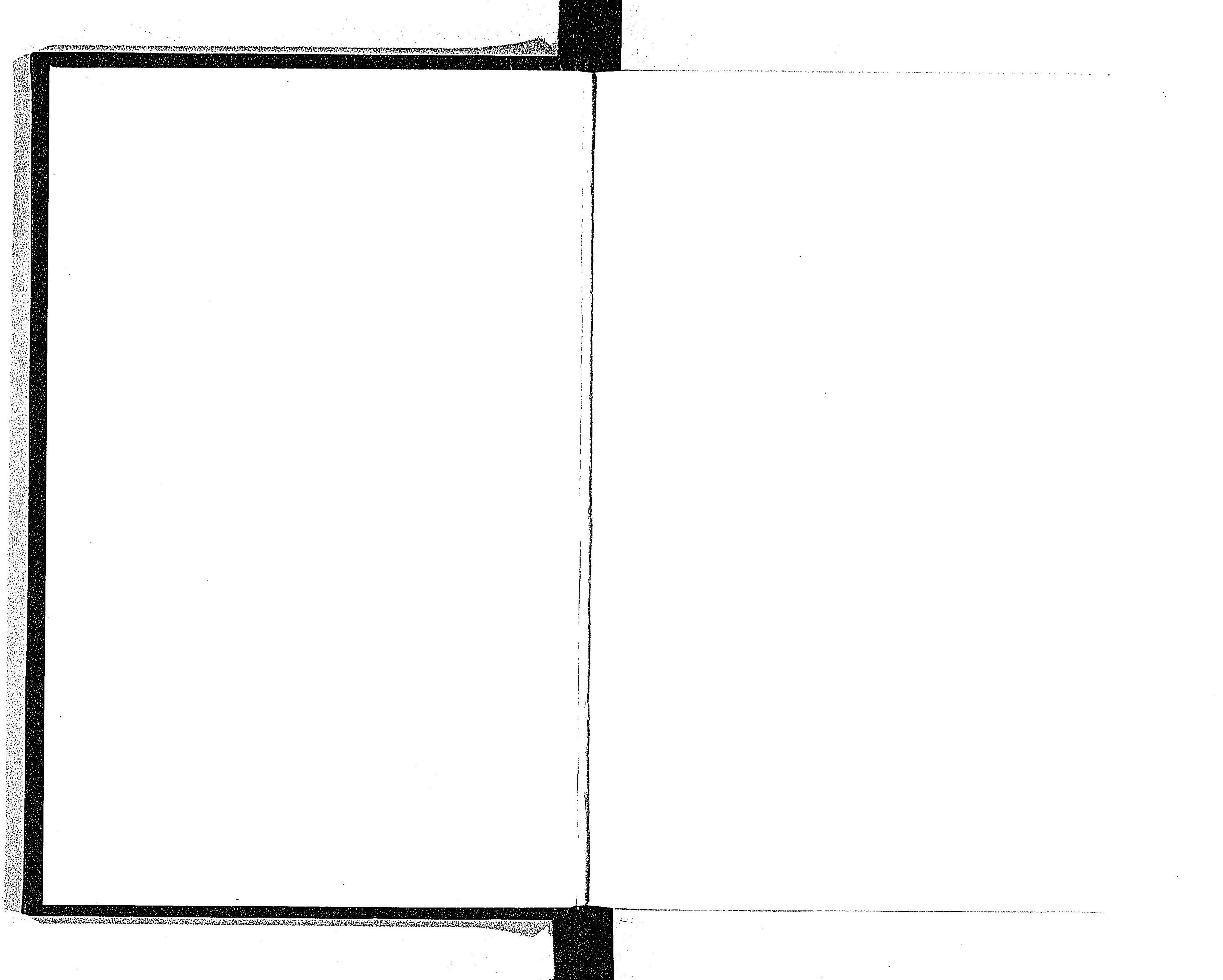
印刷所

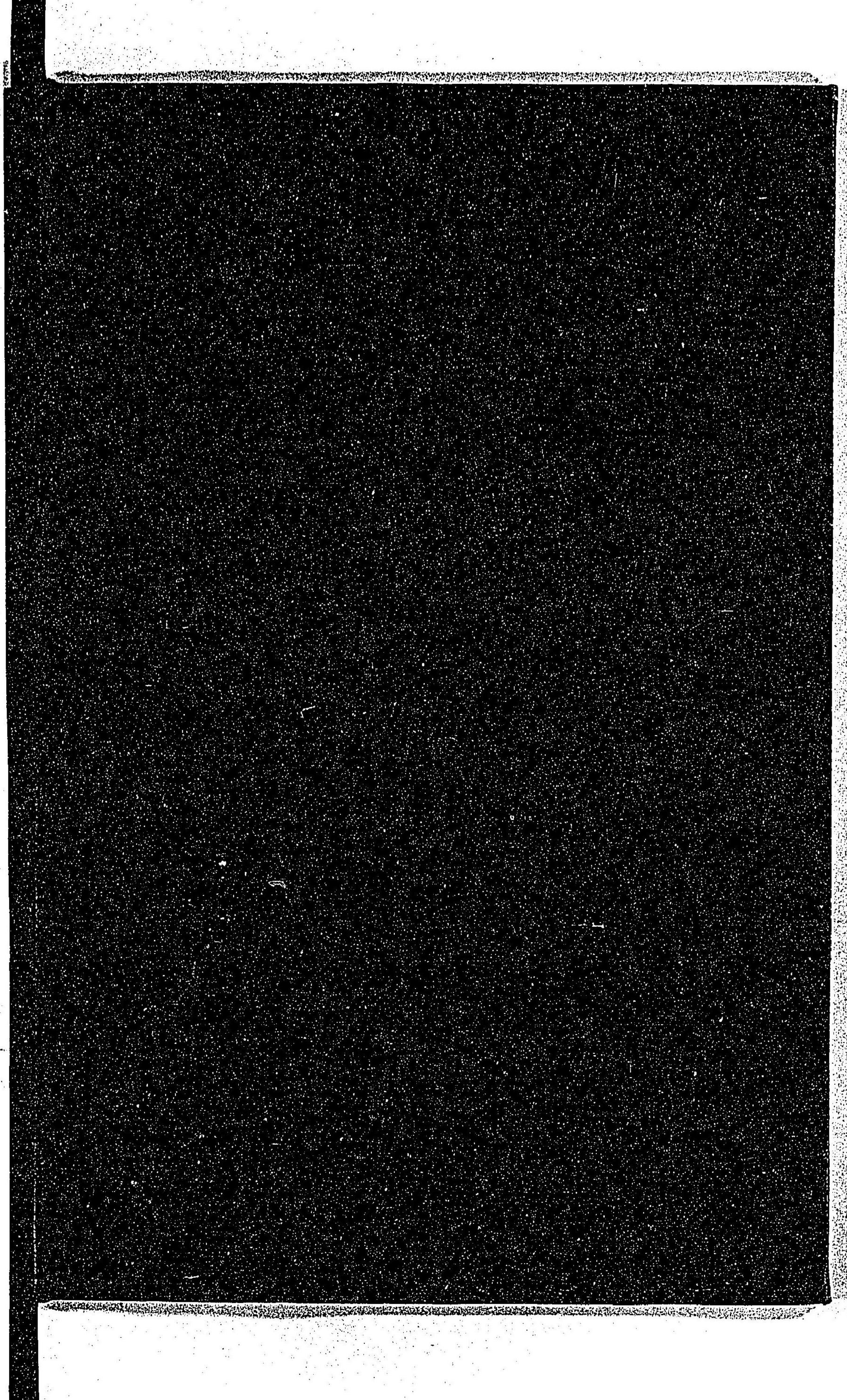
東京市日本橋區兜町二番地

東京印刷株式會社

79
68.7







79
687

M

065941-018-7

79-68

府県聯合共進会審査復命書

農商務省総務局

M27-44

CDA-0285



